

令和5年度森林環境譲与税の使途について

収入額：23,182千円

【充当額等内訳】

単位：千円

No.	事業内容	事業費	充当額
1	区立小中学校の学習机・椅子購入に係る国内産木材を使用した製品購入	17,091	8,546
2	区立小中学校普通教室化工事に係る国内産木材活用	4,897	2,179
3	荒川自然公園サマーハウス改修工事に係る国内産木材活用	7,518	7,518
4	福島市・村上市・甲府市と連携し、植樹体験などのイベントや森林整備を実施	4,073	4,073
5	特別区と多摩地域の市町村、及び東京都との協働により、多摩地域の森林整備やカーボン・オフセット等に取り組む「多摩の森」活性化プロジェクトを推進	866	866

- 荒川区では、地球温暖化や自然共生等の環境問題に対する区民の意識を高めるため、森林資源を有する自治体との連携のもと、森林や自然と触れ合うイベントを実施している。
- 令和5（2023）年度には、「サケ（鮭）」が遡上する河川源流域の森林整備・保全に取り組む新潟県村上市と連携し、植樹や枝打ち、薪割り等の森林体験を通して、森林に直接触れることができるツアーを実施した。

事業内容

森林体験

- ・ 1泊2日のツアーでは、交流都市である村上市で実施される「さけの森林づくり活動」に荒川区民が参加し、植樹や間伐、枝打ち、薪割りを体験したほか、林業重機作業を見学した。また、村上市の鮭漁の見学や、伝統的な鮭料理法を学ぶ「塩引き鮭づくり体験」等を実施した。

【事業費】944千円（うち譲与税944千円）

（譲与税は、ツアーの実施費用に充当）

【実績】ツアー参加者 親子10組20名

取組の背景

- ・ 荒川区は、地球温暖化対策実行計画において、交流自治体との協働で森林整備等の取組を推進することを基本施策として掲げている。その取組の一環として、これまでの村上市との交流都市としての関わりを生かし、区民へ森林吸収対策の学習の機会を設け、ツアーを実施することとなった。

工夫・留意した点

- ・ 単なる森林体験の作業に留まることなく、ストーリー性をもって学んでもらうため、「鮭が育つ豊かな川・海を育てるには豊かな森林が必要」という理念のもと、森林の役割や保全の必要性を学ぶプログラムとした。
- ・ 連携先の村上市とは、密に連携をとり、地元の各関係団体にもご協力いただきながら、ツアーを実施した。

取組の効果

- ・ 森林資源に限られる都心を離れ、豊かな森林や自然に触れる機会を設けることで、区民へ環境学習の場を提供し、地球温暖化防止への意識向上を図ることができた。
- ・ 森林の役割や大切さとともに、交流都市である村上市の文化を学ぶことができた。

基礎データ

令和5年度譲与額：23,182千円	私有林人工林面積（ 1 ）：0ha	
林野率（ 1 ）：0%	人口（ 2 ）：217,475人	林業就業者数（ 2 ）：4人

1：「2020農林業センサス」より、 2：「R2国勢調査」より



（ホオノキの苗木を植樹）



（薪割り体験）



（集合写真）